

系統的な防災教育の実施に向けて

6月16日に、新潟市危機管理防災局危機管理対策課による「全市一斉地震対応訓練」が行われました。各学校においても、実態に応じた訓練が行われ、学校防災マニュアルの見直しや防災教育の必須学習項目の一つである「地震災害」の指導がなされたことと思います。

各学校においては、この機を大切にたらし、教育課程に系統的に位置付けている防災教育の確実な実践をお願いします。そのためにも、5月に市内全小中学校の代表者から参加いただいた『小・中合同「防災教育」研修会』での研修内容を生かしていただきたいと思ひます。

とくに、岩手県大船渡市立吉浜中学校長の村上洋子様（ヨシノ）の基調講演（「東日本大震災から学ぶ防災教育のあり方」～地域とともに取り組む学校防災～）は、私たちが取り組むべきことが明確に分かる示唆に富むお話でした。下記に村上洋様が当時副校長であられた釜石東中学校での取組を簡潔に記します。詳細については、ぜひ研修に参加された方から話を聞いてください。

なお、裏面に防災教育の必須学習項目や資料も掲載しましたので、必ず確認してください。

- 以前から小・中合同の避難訓練を実施（震災時、中学生が小学生をリードした）
- 以前から宮古工業高等学校から津波のメカニズムを学ぶ防災教育を実施
- 地域の世帯へ安否札（避難したことを巡回車に知らせる札）を 配付（震災時、速やかな安否確認がなされた）
- 生徒会を中心に委員会活動で「防災ボランティアスト」と称する地域の方と防災に関する体験活動と一緒に防災教育を実施
- 生徒が地域のボランティア活動に、より多く参加するようにポイント制を導入し、規定のポイントに達した生徒をEASTレスキュー隊員に認定（地域と一体になって支え合う気持ちと体制を作り上げた）



このほか、防災教育によって、災害の可能性の高い地域に暮らす子どもたちが地域を嫌いにならないように配慮することなど、防災に楽しく取り組むことが大事であると、継続する秘訣を教えてくださいました。

『小・中合同「防災教育」研修会』基調講演より（5/20）

また、今年度から新潟市では、独自に「小学校と地域との連携」をキーワードに、地域の特性に応じた防災教育の実践と、地域との連携を強化する取り組みを各区（先進校）1校の小中学校で実施し、安心政令市の土台を固める防災教育を推進しています。（「防災教育」学校・地域連携事業）

平成26年度の指定校は右の8校です。各区の特性に応じた防災教育の実施となりますので、同区・近隣の担当者は、指定校の実践を参観し、自校の防災教育に生かしてください。

区	学校名
北 区	濁川小学校
東 区	南中野山小学校
中央区	有明台小学校
江南区	両川小学校
秋葉区	小須戸小学校
南 区	小林小学校
西 区	黒埼南小学校
西蒲区	曾根小学校

平成26年度実施必須学習項目（自然5災害）

○下記内容が、いつ、どの時間で指導されるかを教育課程で確認し、必ず全ての学級で実施されるようにしてください。

区分 項目	小学校低学年		小学校中学年		小学校高学年		中学生	高校生
	1年	2年	3年	4年	5年	6年		
津波	津波のこわさを知る		津波の恐ろしさと逃げ方を知る		津波の恐ろしさを 知る 津波からの逃げ方 を学ぶ		津波災害の脅威を 知る	津波災害 について 知る
	津波からの逃げ方 を学ぶ		津波から逃げるため に注意する		新潟県の津波災害 の歴史を学ぶ		津波からの逃げ方 を学ぶ	津波から の逃げ方 を学ぶ
地震 災害	地震の危険性と身 を守る方法を学ぶ (学校内)		地震の危険性と身 を守る方法を学ぶ (学校外)		余震や二次災害の 危険性と身の守り 方を学ぶ		地震の発生時期等 に応じた身の守り 方を学ぶ	
							避難所での行動に ついて学ぶ	
洪水 災害	大雨が降った時の 危険性について知る		雨に降り方や洪水に ついて知る		洪水から身を守る ために、私たちが 日頃から備えてお くことを知る		洪水災害からの避 難方法について理 解を深める	
	大雨が降った時に 身を守るための行 動について知る		洪水から街を守る対 策を知る		川からの恵みと災 いについて考える		避難することので きない人間の心理 を理解する 自然と向き合い、 主体的に防災に取 り組む姿勢を育む	
土砂 災害	土砂災害の存在と 危険性を知る		土砂災害の種類と前 兆現象を知る		土砂災害の発生要 因と身を守る行動 を知る		土砂災害から身 を守るための備えと 行動を知る	
雪 災害	冬期の学校に潜む 危険を知る		冬期の学校に潜む危 険を見つけ回避する		雪に対する備えを 学ぶ		除雪作業の基本を 学ぶ	
	冬期の通学路に潜 む危険を知る		冬期の通学路に潜む 危険を見つけ回避す る		雪の災害を学ぶ		冬の地域でのボラ ンティア活動を考 える	

○防災教育の実施にあたっては、今年2月に「新潟県防災教育プログラム」（5自然災害編）を全校に配布してあります。前述の『小・中合同「防災教育」研修会』において、あらためて紹介しましたので、各校でも再度確認し、指導に役立ててください。



柔軟な活用と時数の確保を

新潟県防災教育プログラムは、特別活動や総合的な学習の時間、さらに道徳の時間等を利用して、単独で時間数を確保することを想定して学習指導案を制作しています。

- 1 しかし、必須学習項目時間数は一つの目安であり、必ずこのとおりしなければならないものではありません。
- 2 また、関連する各教科の中で必須学習項目の内容の一部を学習したり、避難訓練の事前指導と併せて学習するなどして、柔軟に確保していただいてもかまいません。
- 3 学習指導案で提示している進め方も一例であり、各学校の方針や実態に即し、柔軟に防災教育を実施してください。